

名古屋市教育委員会 様

名古屋市立楠西幼稚園長
堀 智 重 子

令和5年度 学校評価報告書

学校教育の努力点（主題）	主体的に遊びこむ幼児の育成 ～豊かな感性の芽生えを育む～	I
--------------	------------------------------	---

1 実践のねらい

幼児が主体的に遊びこむためには、幼児理解を深め、適切な環境を用意し、心の動きを感じ取りながらタイミングを捉えた関わりを積み重ねていくことが大切であると考えます。また、幼児が心を動かす出来事に触れ、感性を働かせることはイメージを豊かにし、遊びこむ幼児の育成につながると考えます。幼児たちが自ら人や自然、もの、出来事と様々に関わる中で、豊かな感性が育まれるような環境の構成や教師の援助について考えていきたい。

2 実践のねらいに迫るための手立て

- ① 園の教育課程に基づいて、どのような幼児に育ててほしいか、具体的な姿を考える。
- ② 幼児の心の動きを記録し、保育カンファレンスを通して幼児の育ちを多面的に捉える。
- ③ 豊かな感性の育ちにつながった幼児の心の動き（考える、分かる、できる）について振り返り、教師の援助や環境の構成を明らかにする。
- ④ 保護者や地域に幼児の育ちを発信して、幼児教育への相互理解が深まるようにする。

3 実践の内容

- 事例研究や日頃の保育カンファレンス等を通して、身近で興味関心のある果物や野菜の生長過程に焦点をあて、豊かな感性の育ちにつながる幼児の心の動きを分析し、幼児が主体的に遊びこむことにつながる具体的な環境の構成や教師の援助を評価・反省し、指導計画の見直しをした。
- 登降園時や保護者会、地域の協議会、子育て支援の会や中学校区での教員研修会等で、日々の取り組みを写真やエピソードを入れた掲示や、説明をした。また、HPやインスタグラムを活用して、写真だけでなく動画も用いて、園での幼児の遊びの中で経験していることや学びが伝わるように具体的な姿を伝えた。

4 成果と課題

- ・ 事例研究等を通して、幼児の心が揺り動かされる直接的な体験は、担任、業務士、保護者が肯定的に見守る安心感の中で、教師や友達の思いに刺激を受けながら豊かな感性や創造性の芽生えを育むということが分かった。そして、教師にとって重要なのは、“おもしろそう” “やってみよう” “不思議だな”などの、幼児の心の動きを“感じる心”ということであった。今後は、育まれた豊かな感性を小学校教育につなげていきたい。
- ・ 保育の様子を、写真やエピソードを取り入れて掲示したり、HP、インスタグラムに動画も掲載したりしたことで、保護者や地域の方へ具体的に発信することができ、取組への理解や家庭との連携にもつながった。
- ・ 保護者アンケートや学校評価については、保育内容や教師の関わりについては概ね好評という評価をいただいた。また、学校関係者評価として、保護者からの園への信頼、活動への理解をいただいた。そして、地域や小学校との新たな交流も、子どもたちにとって豊かな経験につながったことを伝えたいところ、来年度も取組みへの充実が図れるように、積極的な支援をしたいという意見をいただいた。今後は、保護者と連携して進めてきたことで得られた園への信頼を基盤として、地域や小学校との連携や活動についても理解を得られるようにしていきたい。

5 来年度に向けて

- ・ 主体的に遊びこむ中で得られた幼児の豊かな感性を、小学校教育につなげられるよう、幼児の姿から育ちについて教職員で話し合い、具体的にしていきたい。そして、遊びの中での育ちが小学校以降の学びにつながるということを、保護者や地域、小学校などに分かりやすく発信していきたい。